

令和8年3月7日(土)掲載  
神奈川新聞社提供(複製禁止)

## 海外レポート @タイ

近年、猛暑や豪雨など気候変動の影響を身近に感じる機会が増え、私たちの暮らしと環境は世界と密接につながっていると実感する。

タイ政府は「NDC3.0」のもと、2050年までのカーボンニュートラルと温室効果ガス排出ネットゼロを目指している。その挑戦を支える一つが、都市同士の協力だ。



横浜市とバンコクは13年に覚書を結び、環境分野で協力を重ねてきた。都市間の信頼関係を基盤に、企業も交えた公民連携を広げながら、持続可能な都市づくりを共に進めている。

昨年11月のアジア・スマートシティ会議(ASCC)＝写真＝では横浜市が発起都市となり、「アジア循環型都市宣言制度」が発表された。ASCCの実績を基盤に「アジア太平洋循環型都市フォーラム」が新たに開催されることも発表された。バンコクを含むアジアの都市が学び合い、高め合う新たな枠組みが動き出している。

横浜市アジア事務所も現地でのイベント参加や都市間交流を通じ、両市の連携を支えている。循環型経済の実現に向け、横浜からアジアへ、そして未来へと協力の輪を広げていきたい。

(横浜市アジア事務所長・三上裕)